第5回医療系大学e ラーニング全国交流会 2011.1.29 @産業医科大学





eラーニングを次のステージへ: つくる、 運営する、 評価する

熊本大学大学院教授システム学専攻



鈴木 克明



ibstpi

http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/

ibstpi 理事・日本医療教授システム学会(JSISH)理事・日本教育メディア学会副会長・日本教育工学会評議員・教育システム情報学会理事・日本e ラーニングコンソシアム名学会員

eラーニング専門家をeラーニングで養成! 熊本大学大学院 教授システム学専攻

eラーニングのこぼれ話 みんな悩んでいます!



- 動画を見せたい:自主制作ビデオで実習前指導
 - 繰り返し見ることができるのでありがたい
 - 見たいところが見えない
 - 撮影のアングルは?
 - 画面は2方向から?
 - 凝れば凝るほど手間暇がかかる





eラーニングのこぼれ話 みんな悩んでいます!



- 文字だけでなくケースをリアルに表現したい
 - イラスト+患者の声?
 - 患者のイメージを共有できて 実習がはかどる
 - 制作資金が続かない



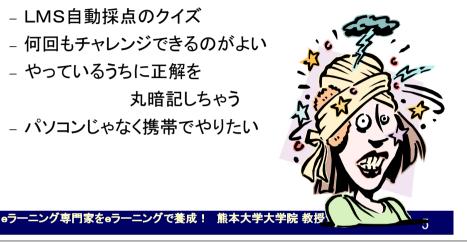
eラーニング専門家をeラーニングで養成! 熊本大学大学院 教授

eラーニング専門家をeラーニングで養成! 熊本大学大学院 教授

eラーニングのこぼれ話 みんな悩んでいます!



- ・小テストで実力養成したい
 - LMS自動採点のクイズ
 - 何回もチャレンジできるのがよい
 - やっているうちに正解を 丸暗記しちゃう
 - パソコンじゃなく携帯でやりたい





eラーニングのこぼれ話 みんな悩んでいます!



- 基礎学力アップのための補講をしたい
 - 2週間で導入教育(復習)
 - 未履修科目も基礎からしっかり学べる
 - 〆切が迫るとただこなすだけ
 - なぜ最初の2週間で完了させる 必要があるのか?
 - ジャストインタイム研修



eラーニング専門家をeラーニングで養成!



■本日のメッセージ



- (評価) 今どのステージにいるかを把握しましょう :悩みの分類学「レイヤーモデル」
- ・(制作)隣の芝生を参考に次のステージに進み ましょう: つくらないeラーニング?
 - 他人が作ったものを使わせてもらう: 他人のアイディ アを盗む:出典を明記して感謝する
 - 中長期的にもとがとれることにしか手を出さない: 適 正初期投資量



■本日のメッセージ



- (運営)eラーニングはまずここから始めよう: 自動採点・自動記録に頼る運営
 - 教師が楽をして学生がせっせと励む構造をつくる; 省力化・未完成品・リピートの勧め
 - 人間がしないでもいいような低レベルなことは機械 に委ねて余力を生み出す

eラーニング専門家をeラーニングで養成! 熊本大学大学院 教授システム学専攻

9





■本日のメッセージ



- ・(評価)eラーニングを目的から手段へ変えよう: 評価から逆算する焦点化設計
 - 余分なことは学生の迷惑;強制は出会わせるためだけ、あとは自主的にたっぷりと
- (評価)学生の学習カアップのためにeラーニングとIDを使おう:教えないで教育する?
 - 講義は情報提供以外に使う時間: 予習の成果を確認する時間: 共同練習の時間
 - IDを学習のヒントとして学生に教えれば、教えないでも育つ学生が育つ

eラーニング専門家をeラーニングで養成! 熊本大学大学院 教授システム学専攻

n

eラーニングの導入が やいっぱなしの教育を防ぐ



- 1)eラーニングは残る。残るものはちゃんとやらなければならない(みっともない)。そこに、これまでの教育の再点検が始まる契機がある。
- 2)大学教員は「教育技術」の体系的訓練を受けていない。 教育については無免許運転。
- 3)4年間でどのような<mark>付加価値</mark>をつけて卒業させるのか。大 学の大衆化・学生の能力差拡大への対処。
- 4)研究重視で教育はサービス? 自分の弟子を効率的に 育てる術を身につける必要はないのか。
- 5)Professor(告白する人)から学生の実力向上請負人へ: 研究方法論に並ぶ教育方法論の基盤を。

eラーニング専門家をeラーニングで養成! 熊本大学大学院 教授システム学専攻